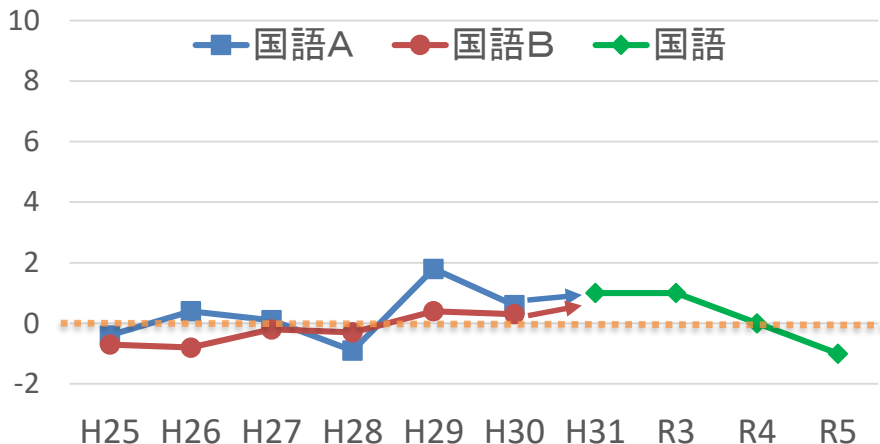


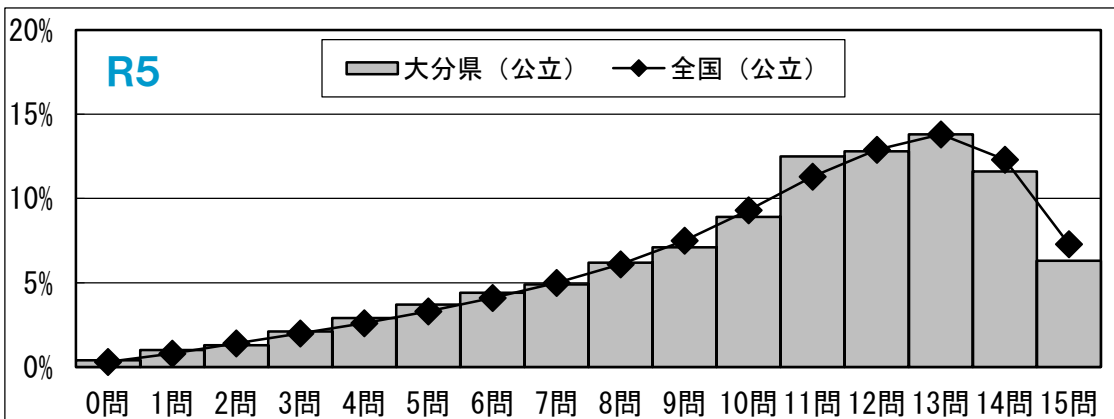
結果のポイント

1 全国平均との差の経年変化



▲全国平均を下回る。

4 正答数度数分布



2 領域別の結果

学習指導要領の内容	県	全国平均
(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	65.2	67.5
(2) 情報の扱い方に関する事項	62.6	63.4
(3) 我が国の言語文化に関する事項	76.4	74.7
A 話すこと・聞くこと	81.4	82.2
B 書くこと	60.1	63.2
C 読むこと	62.2	63.7

○「我が国の言語文化に関する事項」は全国平均を上回る。
 ▲「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと」は、全国平均を下回る。

3 観点別の結果

観 点	県	全国平均
知識・技能	69.3	69.4
思考・判断・表現	68.1	69.7

○「知識・技能」の観点は全国平均並み。
 ▲「思考・判断・表現」の観点は全国平均を下回る。

▲低学力層の生徒の割合(正答率20%以下)が全国平均より多い。
 ▲正答数が全国平均以上(10問以上)の生徒は全国値を下回る。

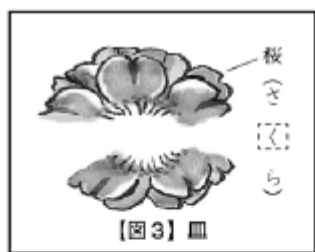
課題が見られた問題と指導の改善

正答率が低かった問題

大問3 設問四 【平均正答率 大分県68.5% 全国 72.1%】

【無解答率 大分県11.6%】

自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる問題。



・「『判じ絵』の解説の面白さ」として、一つの具体例を示して、解説の仕方を説明する。
 ・その際、【図2】の説明の仕方を参考にする。



【図2】の説明



【図2】は、鈴の絵に目が描かれている。描かれているものを組み合わせて解説すると、鳥の「スズメ」という意味になる。

調査結果から見える生徒の実態

【正答例】※Bを使って解答

・「砂」という漢字が逆さまに描かれているので、漢字の読みも逆にすると、野菜の「ナス」という意味になる。

【誤答例】

・「砂」という漢字が逆さまに描かれているので、「ナス」という意味になる。



▲判じ絵をどのように読み解くのかを示すことができていない
 (【図2】とは異なる解説の仕方を文章の中に記述する必要があることを理解できていない)

指導の改善

○ 伝えたい自分の考えを明らかにした上で、複数の事例の中からどの事例を自分の考えを支える根拠として取り上げるのかを検討したり、根拠をどのように文章中に記述したりすると明確になるのかを吟味したりする学習活動により資質・能力の育成を図る。

【学習指導のポイント】

- ① まず、根拠が、考えや言動の拠り所となるものであることを理解させる。
- ② 自分の思いや考えを繰り返すだけでなく、根拠を文章の中に記述する必要性について理解させる。
- ③ 根拠として、複数の事例を示したり、専門的な立場からの知見を引用したりするなどの工夫を理解させる。

※上記を理解させる際に、生徒が自ら考えたり、交流によって自身の課題に気付かせたりするような学習展開が必要である。